

中学生台湾派遣事業〜市内の中学生が台湾の中学生と交流〜

名 寄市では、国際化の進む社会のさまざまな分野で活躍できる子どもの育成、交流人口の拡大による地域の活性化を目的に、台湾との交流事業を推進しています。

今回、市内の中学生8人が、3回の事前学習で台湾はもちろんのこと、名寄市や中国語などについて学んだうえ、1月9日(水)から12日(土)の日程で台北市を訪問しました。生徒たちは台北市立中山国民中学の生徒と授業や昼食などを通じてお互いに交流を深めたほか、小籠包作り体験やなる市立天文台「きたすばる」と交流協定を結んでいる台北市立天文科学教育館を見学するなど、台湾の文化に直接触れ、学び、幅広い視野と国際感覚を育みました。



1/9
水

早朝に台湾へ出発。到着後においしい台湾料理をたくさん食べました。



1/10
木

午前中に總統府を見学し、台湾の歴史などへの理解を深めたほか、小籠包作りにも挑戦。午後から忠烈祠や台北101展望台、中正紀念堂、龍山寺、夜市を見学しました。



1/11
金

午前中に中山国民中学を訪問。盛大な歓迎を受け、8人は中国語で名寄市の紹介をしたり、南中ソランを披露しました。中山国民中学の生徒も日本語で台湾を紹介し、素晴らしいダンスを披露。その後一緒にバレーボールをするなど交流を深めました。午後は台北市立動物園や台北市立天文科学教育館を見学し、お土産を購入しました。



1/12
土

すべての日程を終え、台湾から名寄に帰ってきました。

1/15
火

駅前交流プラザ「よろーな」で帰国報告会を開催。報告会に出席した生徒を代表して5人が「文化の違いを感じることで、貴重な体験をすることができた」「台湾の人たちはとても明るい人が多く、日本人と違うなと感じた」などと台湾での思い出や感想を発表しました。



◆問い合わせ

交流推進課(風連庁舎1階)

☎016555③2511

(内線2362)